

安全と注意点

- 普通のバグパイプと同様に、注意深く、大切に扱ってください。
- チャンターの分解はしないでください。
- お客様で取り外し可能なパーツは、マウスピースのみです。
- ヘッドフォンやイヤフォンにつなげる前に音量設定を確認してください。
- 音量が大きい状態でヘッドフォンやイヤフォンに接続しないでください。
- 電源次第ですが、USB とオーディオ入力に両方つなぐと音の歪みの原因となるかもしれません。
- スイッチ、オーディオ入力、USB ポートに過度の力を加えないでください。
- チャンターを過度に暑い場所、寒い場所、または直射日光に当たる場所に置かないでください。
- チャンターを雨などの水がかかる場所や過度に湿度が高い場所に置かないでください。
- チャンターを振動がある場所に置かないでください。
- チャンターを磁気が発生する場所に置かないでください。
- センサー部に埃や汚れが溜まらないようにしてください。
- チャンターの近くに、飲み物を置かないでください。

掃除

- 乾いた布（糸くずや毛羽が無いもの）で掃除してください。
- 指穴の汚れは、きれいな乾いた空気で吹き飛ばしてください。固い物で直接、指穴を掃除しないでください。

バッテリー

本製品は、USB ポートを通じて充電可能な、リチウムイオンバッテリーで作動します。通常の使用で、一回のフル充電で 6 時間使うことができます。使用時間を延ばすためには、OLED、メトロノーム、EQ を OFF にし、音量を小さくする必要があります。

- バッテリーを充電する際は、USB ポートに付属のケーブルをつないで行ってください。
- 本製品のバッテリーは、メーカーでのみ修理、交換することができます。
- バッテリーを不適切に取り付けると、発火の危険があります。
- 内部のバッテリーを熱源や火に近づけないでください。

バッテリーの残容量が少なくなると、チャンターが反応しなくなったり、誤作動したりする場合があります。

メーカー保証

メーカーは、本製品がマニュアルに沿って適切に使用される場合、購入日より 2 年間保証します。

下記の場合、保証の対象外となります。

- メーカー以外で本製品が、分解、修理される。
- マニュアルで記載された以外の方法で、本製品が使用される。
- 指穴に異物が混入する。
- 製品に変更、修正、追加が行われる。
- 不適切な扱いや事故で、製品が破損する、または製品に異常が発生する。

保証請求を行う必要がある場合、次の手順に従ってください: 1.まずメーカーにご連絡ください。(メールアドレス: sales@murrayblair.com) ソフトウェアのアップデートまたは同様のオンラインによるサポートで問題が解決する可能性があります。 2.オンラインで解決できない場合、購入日と購入場所を示す領収書とともに下記住所へ製品をお送りください(送料はお客様のご負担となります)。メーカーで修理または交換し、お客様へお送りします。
返品先: Murray Blair Pty Ltd, 37A Green St, Richmond, Victoria, 3121 AUSTRALIA

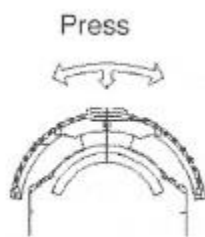
製品登録

本製品を登録すると、サポート資料、支援動画、ソフトウェアと説明書の最新版にアクセスできます。 1. ご登録は www.blairbagpipes.com/register にアクセスしてください。 2. 購入日と通し番号(シリアル番号)が必要となります。通し番号は「Advanced」メニューの「Serial No.」にあります。

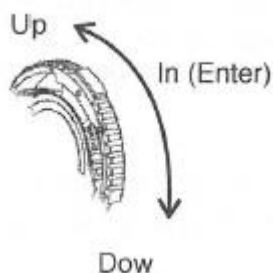


はじめに

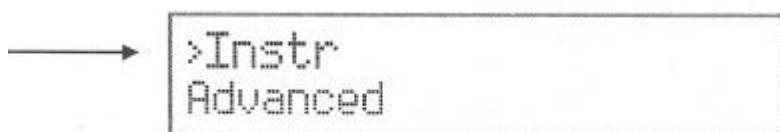
電源とナビゲーションのスイッチ。ダイヤルスイッチを押すと電源が入ります。



こちらは、ナビゲーションスイッチで、メニューを選ぶときや設定を変えるときに使用します。ナビゲーションスイッチには、「Up, Down, In」の3つの位置があります。「In」にすると、「Enter」と同じ意味となります。



ディスプレイで、現在のナビゲーションの位置は、>の矢印で表示されます。その位置を選ぶときには、「Enter」を押します。



ナビゲーションスイッチでは、「Enter」は設定を調整するときにも使います。設定が調整されているとき、スクリーンは、調整されているパラメータの横にアスタリスク(*)を表示します。

→ *Instr <Ghb>

前のメニューに戻るときは、スイッチを「Back」に合わせて「Enter」を押します。

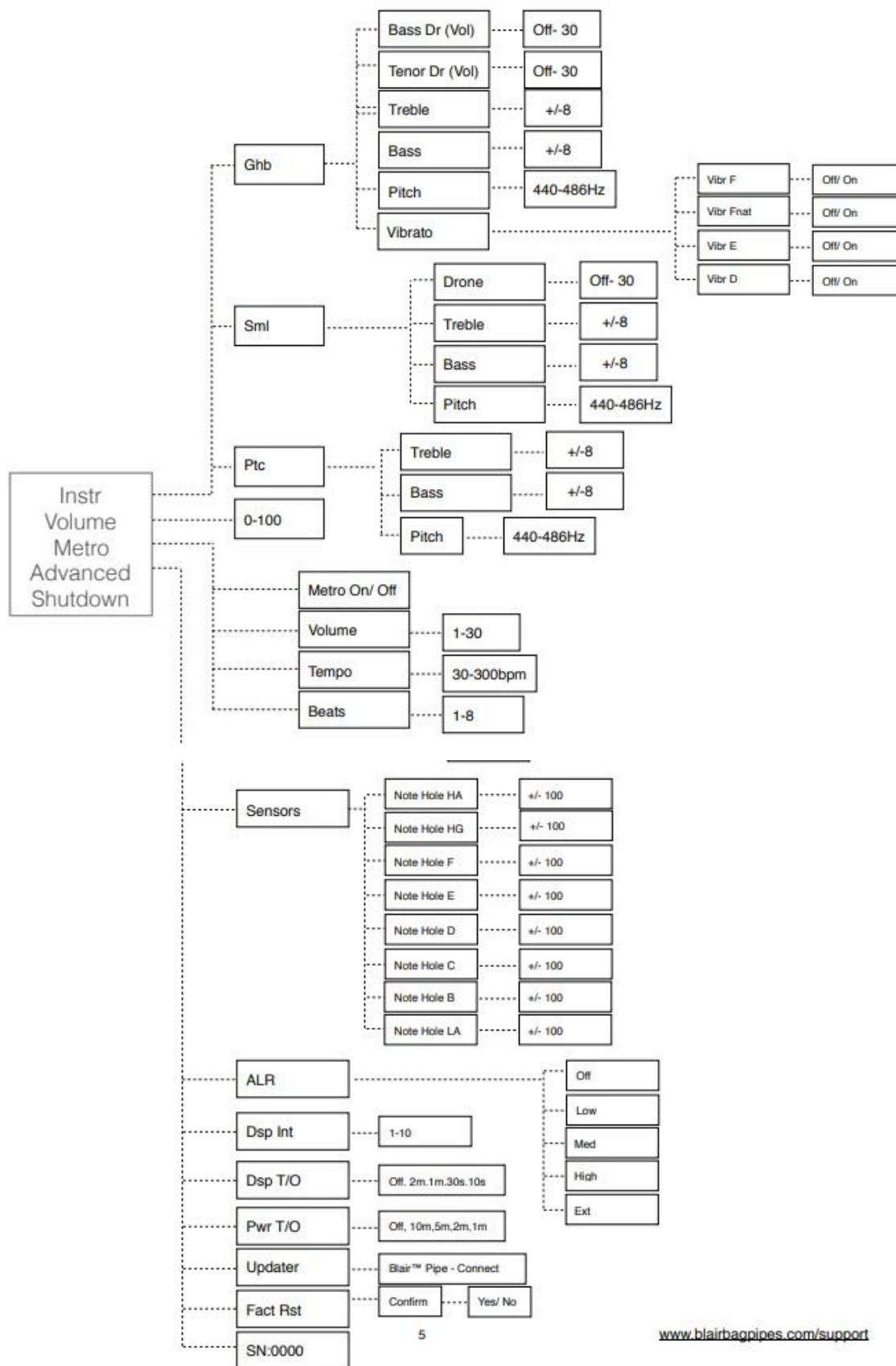
→ Low A -30
>back

チャンネルの電源を切るときは、「メインメニュー」に行き、「Shutdown」を押します。

→ Metronome
>Shutdown

メニューの内容

下図は、メインメニューからサブメニューまでの内容と流れを表したものです。



出力

本製品には、USB と 3.5 ミリ、モノ・オーディオ・ジャックの 2 つの出力端子があります。

チャンターを演奏するときは、電源を入れてから、音量レベルを確認してください。聴覚と機器を保護するため、ヘッドフォン、スピーカーに接続する前に必ず、音量レベルを確認してください。

1. USB ポート
2. 3.5 ミリ、モノ・オーディオ・ジャック(音量レンジ:0~100)



1.USB 2. Audio Output

USB は、データの送信やバッテリーの充電に使用します。オーディオデータの送信はできません。USB は、パソコンや iPad につなげて、MIDI を送信することもできます。

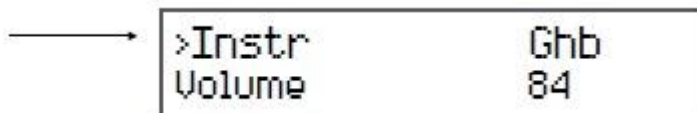
楽器の選択

このチャンターは、3 種類の楽器の音を再生します。メインメニューから選べます。

- Ghb:グレートハイランドバグパイプ
- Sml:スコティッシュスモールパイプ
- Ptc:プラクティスチャンター

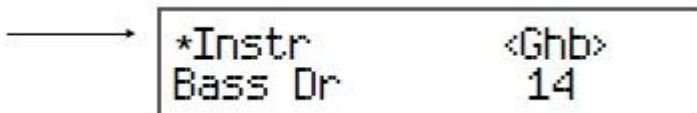
楽器の選択

ナビゲーションスイッチで、「Instr」にスクロールしてください。



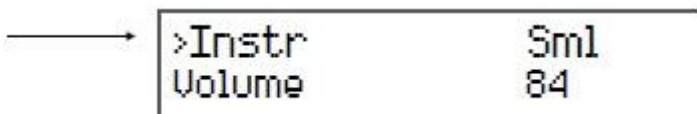
「Enter」を 2 回、押してください。

アスタリスク(*)が「Instr」の横に表示され、楽器の名前が<>で表示されます。



ナビゲーションスイッチを回して、楽器を変更できます。

楽器を選択後、「Enter」を押すとその楽器が選択されます。



グレートハイランドバグパイプ

グレートハイランドバグパイプのデフォルトのピッチは、480Hz です。

グレートハイランドバグパイプでは、次のパラメーターを調整することができます。

- ベースドロンの音量 (Off-30)
- テナードロンの音量 (Off-30)
- Treble (高音域) (+/-8)
- Bass (低音域) (+/-8)
- ピッチ (440-486Hz)
- ビブラート: D ビブラート (Off/On)、E ビブラート (Off/On)、F ナチュラルビブラート (Off/On)、F ビブラート (Off/On)

スコティッシュスモールパイプ

スコティッシュスモールパイプのデフォルトのピッチは、440Hz です。

スコティッシュスモールパイプでは、次のパラメーターを調整することができます。

- ドロンの音量 (Off-30)
- Treble (高音域) (+/-8)
- Bass (低音域) (+/-8)
- ピッチ (440-486Hz)

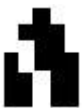
プラクティスチャンター

プラクティスチャンターのデフォルトのピッチは、450Hz です。

プラクティスチャンターでは、次のパラメーターを調整することができます。

- Treble (高音域) (+/-8)
- Bass (低音域) (+/-8)
- ピッチ (440-486Hz)

メトロノーム



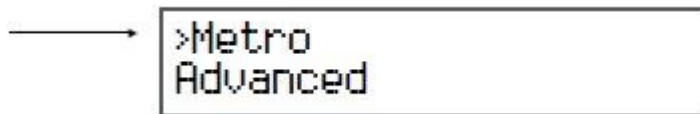
チャンターにはメトロノーム機能があり、メトロノーム音と楽器の音をミックスする機能があります。

最終のオーディオ出力で、メトロノーム音の音量を調整することができます。メトロノーム音は、2つの異なる打楽器の音です。

パラメーター

- 音量 1-30
- テンポレンジ 1-300bpm
- ビート 1-8

メインメニューで「Metro」にスクロールし、「Enter」を押す。

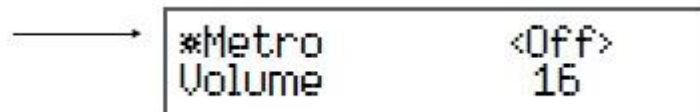


メトロノームのメニューが表示されたら、「Enter」を押す。

アスタリスク(*)が「Metro」の横に表示され、<Off>が出ると、設定変更が可能であることを意味します。

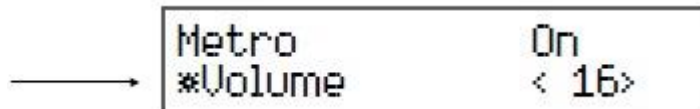
ナビゲーションスイッチを回して調整した後、「Enter」を押して新しい設定を有効にします。

メトロノーム機能が ON になると、メトロノームのアイコンがスクリーンに表示されます。



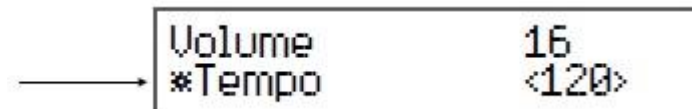
メトロノームの音量は、メトロノームの設定で下に表示される「Volume」で調整できます。

ナビゲーションスイッチを回して調整した後、「Enter」を押して新しい設定を有効にします。

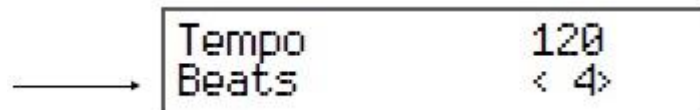


メトロノームのテンポは、メトロノームの設定で下に表示される「Tempo」で調整できます。

ナビゲーションスイッチを回して調整した後、「Enter」を押して新しい設定を有効にします。



8つのビートパターンがあり、異なるビートにアクセントを置きます。



MIDI の使用

MIDI は、電子楽器同士や電子楽器とパソコンを接続するための世界共通規格です。本製品は、MIDI に対応しており、データ情報をデバイス間で送ることができます。MIDI を使うことで、グレートハイランドバグパイプの運指でピアノやギターなど別の楽器の音を再生することができます。本製品は、USB ポートを通じて、MIDI の受け手となるパソコン、iPad、タブレットに接続することができます。

MIDI のノート番号は、次のようになります。

Chanter	Low G	Low A	B	C nat	C	D	E	F nat	F	HG	HA	Tenor	Bass
MIDI note number	56	58	60	61	62	63	65	66	67	68	70	58	46

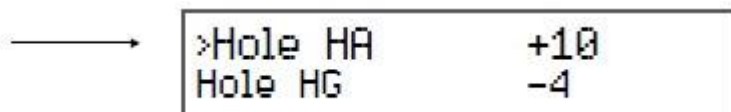
センサーについて

このチャンターは、運指に対する反応を独自に調整できます。指穴のセンサーは、指の動きと皮膚の影に反応します。値を調整することで、お客様の好みに合った演奏が可能となります。設定値を上げると反応が鈍くなり、設定値を下げると反応が敏感になります。

1. センサーのメニューに行く：



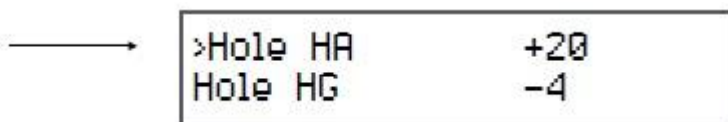
2. センサーメニューの最初の項目：



3. 各センサーの編集モードに入ります。センサーを調整するために、「Enter」を押します。アスタリスク(*)が「選択した音の穴」の横に表示され、設定値が<>で表示されます。下図は一例で、設定値が 10 ですが、ナビゲーションスイッチで値を調整できます。



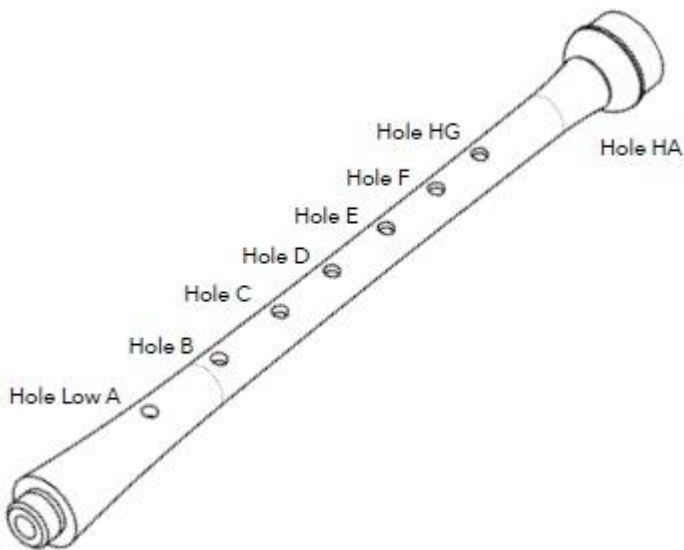
4. 正しい音が聞こえるまで、値を調整する。正しい値にできたら、「Enter」を押して新しい設定を有効にします。



5. メインメニューに戻るため、「Back」に合わせて「Enter」を押す。

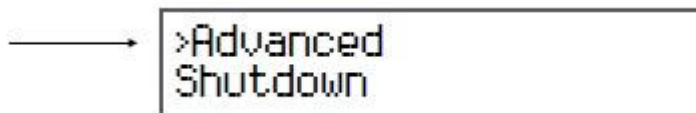


各音のセンサー名と位置



上級者向けの設定

メインメニューから「Advanced」に行くと、上級者向けの設定ができます。

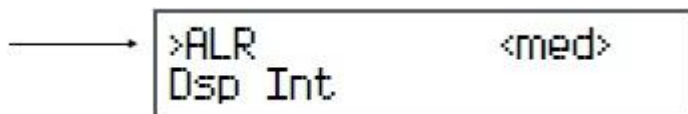


周囲の光の調整 (ALR)

「ALR」は、屋外で演奏するときにチャンターに影響を与える太陽光などの光の量を調整します。太陽光が強い場合、指のセンサーが光に反応して実際に演奏していなくても、音を出す場合があります。

調整は、Low、Med、High、Extreme から選べます。「ALR」の調整は、Low から始めることをお勧めします。

屋内で演奏するときは、「ALR」を Off にしてください。



Dsp Int: LED ディスプレイの明るさを調整します。

Dsp T/O: ディスプレイの表示が消えるまでの時間を調整します。表示が消えても、チャンターは機能します。この時間を短くすることで、バッテリーの持続時間が長くなります。表示が消えても、「Enter」を押すと再表示されます。

Pwr T/O: チャンターが演奏されていない時の電源が切れるまでの時間を調整します。これにより、バッテリーが無駄に消費されることを防止します。時間は、2分、5分、10分、Off から選べます。

Updater: 更新ソフトをインストールするときに選びます。

Fact Rst: 工場出荷時の設定に戻すときに使います。戻すと、以前の設定値は保存されません。

シリアル番号: ソフトのインストールやオンラインサポートを受けるときに必要な番号です。大切な番号ですので、失くさないようにお願いします。

バッテリーの充電

通常の使用で、一回のフル充電で6時間使うことができます。充電するときは、USB ケーブルをつないで USB ソケットを通じて充電してください。フル充電には、3~4 時間ほどかかります。バッテリーがフルに充電されていない状態で長期間置いたままにしないでください。バッテリーの寿命が短くなる可能性があります。スマホ用のモバイルバッテリーでも充電することができます。

仕様

- グレートハイランドバグパイプ、スモールパイプ、プラクティスチャンターの音色に設定可能。
- 高音域 (Treble) と低音域 (Bass) のイコライザー機能。
- ピッチは、440-486Hz で調整。
- メトロノーム機能。
- MIDI 出力可能。
- USB ポート付き。
- 充電式バッテリー内蔵 (USB で充電)。
- オーディオ出力 (3.5mm)
- サイズ: 54.3 cm X 4.5 cm, 204 g

~以上~